

憩エキスパートナーズ (IEN) 院内認定コース

平成 26 年度より院内認定のエキスパートナーズを養成する
長期研修コースが 2 分野開講しています。

研修修了認定を受けると認定バッジが授与されます。

がん看護分野

(研修期間：1 年 6 ヶ月間)



退院調整看護分野

(研修期間：1 年間)



主催：看護部

平成28年4月1日

憩エキスパートナーズ (IEN)
「第2回 がん看護分野 院内認定コース」研修要綱

1. 研修目的

がん看護の実践能力を高め、自部署でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

2. 研修目標

★ステップ1

「がん看護実践に必要な基本的知識や技術を理解し、看護援助に活用することができる」

★ステップ2

「心身の苦痛をもつがん患者の個別のニーズを把握し、現場での看護実践ができる」

「さまざまな専門家への架け橋となり、ケアをつなぐことができる」

「現場で実践モデルとなって後輩に指導ができる」

3. 研修期間

平成28年6月～平成30年3月

★ステップ1 平成28年6月23日～平成29年3月11日 (計11回)

★ステップ2 平成29年6月10日～平成30年3月22日 (計9回)

フォローアップ研修：あり

4. 開催日時 (別紙参照)

平日：①16:00～18:00 (120分)

②15:00～18:00 (180分)

※ 17:00 迄は勤務扱いで参加

土曜日：① 9:30～16:30 (360分)

② 9:00～16:30 (390分)

③ 9:00～17:00 (420分)

※ 午前中は勤務扱いで参加

第31回日本がん看護学会学術集会参加 (絶対要件ではない) ※ 参加費のみ看護部教育費より助成

5. 研修プログラム

別紙参照

6. 会場

南病棟 がんサロン (公開講座は別会場：その都度お知らせする)

7. 対象者

がん看護に関わるステージV以上の看護師で、所属長の推薦がある者 (定員12名)

8. 申込期間

平成26年3月1日～4月30日

指定の研修申込書にて (提出先：がん相談支援センター松尾)

9. 受講決定通知

5月中旬頃に書面にて通知 (書類審査にて決定する)

10. 評価

課題レポート提出

11. 修了証書 (認定書)

研修の出席時間数が、総研修時間数の5分の4以上で発行 (看護部発行) 及び認定バッチ交付

12. 研修企画・担当者

緩和ケア認定看護師：松尾理代、がん化学療法看護認定看護師：水嶋親美

がん放射線療法看護認定看護師：松村尚子、がん性疼痛看護認定看護師：池嶋三賀

オブザーバー：教育担当副看護部長

憩エキスパートナーズ「第2回 がん看護分野 院内認定コース」 研修プログラム概要

科目	テーマ・内容		研修目標	研修時間	日時
緩和ケア総論	緩和ケアとは、IENに求められる役割		<ul style="list-style-type: none"> 基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割と必要な実践能力について理解ができる。 緩和ケアについて理解を深める。 	180	H28/7/9
患者の意思決定支援	基本的コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> がん看護におけるコミュニケーションの重要性を理解し、基本的なコミュニケーションスキルを身につけることができる。 	570	H28/9/10 H29/6/10
	病状説明同席時の看護師の役割（Bad News 含）		<ul style="list-style-type: none"> 病状説明に同席する看護師の役割について理解する。 	120	H28/10/19
	がん患者の意思決定支援		<ul style="list-style-type: none"> がん患者が直面する意思決定場面を知り、意思決定支援における看護師の役割を理解する。 	180	H29/9/9
	がん患者の在宅療法移行への支援		<ul style="list-style-type: none"> がん患者の療養の場の選択（在宅療養）における看護師の役割と、社会資源の活用について知る。 	240	H29/9/9
	カンファレンス		<ul style="list-style-type: none"> カンファレンスの目的と必要性について理解し、カンファレンスを効果的に進める方法を検討できる。 	390	H29/6/10 12/9
苦痛緩和	症状マネジメント	がん性疼痛	<ul style="list-style-type: none"> がん性疼痛について理解する。 がん性疼痛の基本的な治療やケアについて理解する。 	360	H28/11/5 12/10
		気持ちのつらさ・不眠・せん妄	<ul style="list-style-type: none"> がん患者に多くみられる精神症状について理解する。 精神症状の基本的な治療やケアについて理解する。 	180	H29/1/28
		倦怠感・消化器症状・呼吸困難	<ul style="list-style-type: none"> がん患者に多くみられる倦怠感/消化器症状/呼吸困難について理解する。 倦怠感/消化器症状/呼吸困難の基本的な治療やケアについて理解する。 	360	H29/7/8
	がん治療と看護	がんの病態とがん治療	<ul style="list-style-type: none"> がんの病態と抗がん治療の基本的知識を理解する。 	90	H28/11/5
		がん化学療法と看護	<ul style="list-style-type: none"> がん化学療法や有害事象について理解する。 がん化学療法の有害事象の基本的な治療やケアについて理解する。 	810	H28/11/5, H29/1/11 H29/10/28, 12/9 H30/1/13
		がん放射線療法と看護	<ul style="list-style-type: none"> 放射線療法の基本的知識と有害事象について理解する。 治療に伴う苦痛症状を知り、適切なケアについて理解する。 	540	H29/1/28, 10/28, H30/1/30
	包括的アセスメント		<ul style="list-style-type: none"> がん患者の包括的アセスメントの考え方を理解し、がん患者の苦痛を全人的に捉えることができる。 演習を通じて、緩和が必要な苦痛や苦悩を全人的な視点から包括的にアセスメントができる。 	960	H28/7/9, H29/3/11 H30/2/24
	エンドオブライフケア		<ul style="list-style-type: none"> 死が近づいた時期にみられる身体変化を知り、エンドオブライフケアについて理解する。 	360	H29/11/11

専門家への 橋渡し・連携	緩和ケアの専門家への橋渡し・連携	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアの専門家への橋渡し・連携の必要性と、看護師の役割について理解する。 緩和ケアのリソースを効果的に活用するために、緩和ケアのリソースの構造と機能を知る。 	180	H28/7/20
	症例検討会	<ul style="list-style-type: none"> 現場の看護のあり方や看護師の役割について考え、実践につなげる。 	90	—
	緩和ケアチームラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 多職種連携におけるチーム医療のあり方について学び、病棟看護師の役割について考える機会とする。 	150	—
その他	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 研修目的を理解し、研修が円滑に進むよう準備ができる。 	120	H28/6/23
	研修受講の心構えについて	<ul style="list-style-type: none"> 研修参加の受講動機を再確認し、自身の目標、課題をもって研修に臨むことができる。 		
	第31回日本がん看護学会学術集会 参加	<ul style="list-style-type: none"> 学会に参加し、現場の看護を振り返る機会とする。がん看護の動向を知り、今後の看護実践に役立てる。 	—	H29/2/4-2/5
	IEN 振り返り	—	30	H30/2/24
	発表、修了式	<ul style="list-style-type: none"> 2年間の学びが発表できる。 	120	H30/3/22

退院調整看護分野 院内認定コース研修要項

研修目的

変動する社会背景、国民の医療ニーズを理解し、地域基幹病院としての役割を果たすべく、各部署において退院調整のコアスタッフとして退院調整看護のロールモデルとなり、看護の立場で、地域のリーダー的役割の推進者を育成する。

I. 目標

- ① 患者の個別性を重視した創造性豊かな質の高い退院調整看護の実践ができる。
- ② 患者・家族の意思の尊重と自己決定とは何かを理解し主体的な支援ができる。
- ③ 病院内各種専門職の分担と統合によるチーム医療を促進する。
- ④ 施設全体で取り組む退院調整看護の実際の運用ができる。
- ⑤ 看護専門職の高い倫理性及び科学的思考に基づく退院調整看護を実践する能力を養う。
- ⑥ 患者、家族が必要としている退院調整の方向性を導き出し、入院時から退院後の生活を視野に入れた有効な退院計画を立案し、チームで実践できる。

II. 受講資格

- 看護師経験 5 年以上で、退院調整看護の実践経験がある者
- 受講希望者は、受講動機および所属長の推薦があること
- 全 5 回の研修にすべて参加が可能であること、および奈良県看護協会平成 30 年度教育計画の研修に参加が可能な者（I E N 研修プログラム参照）※ 受講料は、教育費で支給

III. 申し込み方法と受講決定について

- ナーススケジューラーから入力および申し込み票（様式 1）を記載し、研修企画担当者（入院支援センター 原か福田）まで提出する。
- 研修企画担当者間で協議し、看護師長を通じて、受講者決定者へ文書で通知する。（受講決定後、事前資料送付予定）
- 定員 10～15 名程度。

IV. 研修評価

- 研修ごとに終了時に学びのレポート、研修報告書（看護協会研修・訪問看護実習・公開講座）を提出し、評価する。
- レポート評価の視点
 - ① 看護の視点で記載している
 - ② 研修内容を理解し、新しい学びとして記載している。
 - ③ 学びを現場で活用する視点で記載している。
 - ④ 小論文については、論文形式で記載している。
 - ⑤ タイトルと内容が一致している。

評価基準：A 優 B 良 C 可 D 努力を要する F 不合格

A：100～90点 B：89～80点 C：79～70点 D：69～60点 F：不合格
D以上が合格

- 研修全体の主体的な参加姿勢（発言など）を評価する。
- 研修後、退院調整看護の実践力が習得でき、研修後の自己の役割を具体的にイメージできたか、認定後の実際の取り組みの計画について、個別面談で確認する。
- 研修終了後、研修修了証および認定バッチを交付する。

V. 研修企画担当者

患者総合支援センター（NTZの会）

入院支援 原里美（看護師長） 福田奈津子（副看護師長）

退院支援 鶴井智佳子（退院調整看護師 主任看護師）

在宅世話どりセンター 沼澤和実（看護師長） 中村富美（副看護師長 IEN 1期生）

吉田道子（IEN 2期生）

研修責任者 河合のり子（統括看護師長）

VI. 募集期間

平成 30 年 5 月 1 日～5 月 31 日まで

2018年度「退院調整看護分野 院内認定研修」 研修プログラム(予定)

	研修テーマ	研修のねらい	備考
第1回 南サロン室 平成30年7月5日(木) 16:00～18:30 患者総合支援センター 河合	・開会のあいさつ ・講師紹介 ・受講動機の発表 ・オリエンテーション 【総論】 地域包括ケアシステムと退院支援・調整・継続看護	1. 社会の動向から地域包括ケアシステムの必要性がわかる。 2. 退院支援・調整の3段階のプロセスがわかる。 3. IEN懇エキスパートナーズ(退院調整看護分野院内認定コース)の使命と役割が理解できる。 4. 所属部署の退院支援・調整の課題を抽出できる。	ディスカッションテーマ: 「所属部署の退院調整の仕組み(流れ)に関する現状と課題について」 事前学習: 退院支援ガイドブック(各病棟に1冊配布してある)のp10～25までを読んで来てください。(退院支援・退院調整のフロー図を含む)
9月1日(土)AM インターネット研修:地域緩和ケアを支える切れ目のない看護のポイント「基礎編」「応用編」			
第2回 南サロン室 平成30年10月4日(木) 16:00～18:30 入院支援センター: 原・福田 在宅センター: 沼澤・中村・吉田	退院支援・調整の3段階プロセス: 第1段階 退院時スクリーニング 退院支援・調整の3段階プロセス: 第2段階 意思決定支援	1. 早期スクリーニングの必要性が理解できる 2. 入院前から退院後を見据えた情報の必要性を理解できる 1. 意思決定支援のプロセスを理解できる 2. 意思決定支援における看護師の役割が理解できる。	事前学習: ①退院支援ガイドブックのp40～p61までを読んできて下さい。 事前学習: ①退院支援ガイドブックのp62～p85までを読んできて下さい 学習方法: アセスメントシートや意思決定支援用紙を用いて事例を検討します。
第3回 南サロン室 平成30年11月1日(木) 16:00～18:30 在宅センター: 沼澤・中村・吉田	退院支援・調整の3段階プロセス: 第2段階 退院調整アセスメント	1. 患者の疾患・ADLにより、今後生活で起こりうる課題について検討できる。 2. 入院前・現状から退院時に目指せる状況のアセスメント及び課題の抽出ができる。	事前学習: ①退院支援ガイドブックのp86～103までを読んできてください。 学習方法: アセスメントシートや意思決定支援用紙を用いて事例を検討します。
11月16日(金) 奈良県看護協会主催:地域包括ケアにおける看護職の役割～コミュニティーナースに学ぶ～ 研修受講(準出張)			
第4回 外来中会議室 平成31年1月25日(金) 16:00～18:30 退院支援担当:鶴井	退院支援・調整の3段階プロセス: 第3段階 社会資源との連携① 社会保障制度とは	1.退院支援・退院調整に必要な社会保障制度の理解を深めることができる。 2. 患者の状態や状況に応じた社会保障制度適用を考えることができる。 2.患者・家族へ制度利用の必要性の説明ができる。	事前学習: ①退院支援ガイドブックのp180～190までを読み、分からない部分は自己学習してください(必要な資料を持参)②在宅医療について学習し、必要な資料を持参してください。 学習方法: 事例をもちいて介護保険制度、障害者総合支援法、在宅医療の制度学習を深めながら、制度活用のアセスメントの過程と必要な支援を考えます。
2月23日(土) 仮)地域ケア担当者(介護支援専門員及び訪問看護師)との交流会			
第5回 南サロン室 平成31年2月28日(木) 16:00～18:30 退院支援担当:鶴井	退院支援・調整の3段階プロセス: 第3段階 社会資源との連携② 退院前カンファレンス	1. 退院支援・退院調整カンファレンスの必要性をアセスメントできる。 2. 退院支援・退院調整カンファレンスの目的に則った関連職種と調整、患者や家族への参加の促しができる。 3. 退院支援・退院調整カンファレンスの企画・準備・運営ができる。 4. 継続看護の今後の課題を明らかにできる。	事前学習: ①退院支援ガイドブックのp141～178を読んで来てください。 学習方法: 事例のカンファレンスの企画し、運営方法を話し合います。継続看護のツールとしての看護サマリーのあり様について考えます。
1月～3月の間に、訪問看護の一日同行訪問実習 (準出張) 訪問看護ステーションか在宅世話どりセンターのどちらかを選択する。 実習終了後、課題レポート提出			
全日程、全課題終了後、研修実施者による個別口頭試問します。			